



教育目標

- 1 言語力を高め、伝え合うことができる人
- 2 自ら学び続ける人
- 3 できることに気付き、進んで取り組める人
- 4 心豊かで健やかな人

今年度の取り組み－主体的に思考する力と自ら考え行動する力の育成－

〔評価基準〕 A：とても良い B：良い C：普通 D：悪い E：とても悪い

〔評価者〕 保護者：9名 教職員等：10名

I-1 自立と社会参加に向けて

- 1 幼児児童の社会参加自立を目指し、幼児児童の実態に応じたことばの指導を充実させ、人とかかわり合うためのコミュニケーション能力を育成します。【A・B】
- 2 保護者との連携及び関係機関との連携の際は、必ず「個別の教育支援計画」の記載事項を踏まえ、これまでの指導支援の経過や合理的配慮を確認し、幼児児童の実態に応じた指導・支援をします。【A・B】
- 3 交流及び共同学習の一層の充実のために「個別の教育支援計画」を活用し、交流相手園・校と合理的配慮を共有することで幼児児童同士が相互理解を深めて、主体的にかかわり合えるように支援をする。

【B・C】

教師の交流及び共同学習の項目においてはC評価となっている。これは、積極的に交流を行っているものの、「個別の教育支援計画」の活用がうまくいかない状況があった。どのような場面で利用したら良いのか考えていかなければならない。

I-2 主体的・対話的で深い学びと豊かな心の育成

- 1 複数の教員間、保護者、関係機関と連携し、必要に応じてケース会議を実施することで幼児児童の実態の全体像を確認し、コミュニケーションの状況を明確にして「個別の指導計画」を見直します。【A・B】
- 2 新学習指導要領を踏まえ授業の目的を明確にし、話し合い活動や作文活動を取り入れ、幼児児童との対話を大切に授業づくりを行います。【A・B】
- 3 体験的活動の充実を図り、体験したものを「読む」「書く」「話す」「書く」等のことばの学習を通して、幼児児童が自ら考え、行動できるような主体性や意欲を育成します。【A・B】

今年度も個別の指導計画の作成や改善のためにケース会議を実施し、全職員で共通理解を行った。小学部は新学習指導要領の移行期間であるが、踏まえた授業の在り方という点において、まだ試行錯誤で取り組んでいる点がある。

I-3 言語力と自己指導能力の育成

- 1 聴覚活用と多様なコミュニケーション手段（手話を含めた）の研修を実施し、子どもの「きこえ」やコミュニケーションの実態に応じた指導支援の充実を図ります。【A・A】
- 2 聴覚補償や情報保障機器の活用に関する研修を実施し、授業に活かします。【B・B】
- 3 外部の専門家を招聘し、教員自ら課題意識を持って授業研究会を実施し、授業力の向上を目指します。【A・B】

校内研修や外部の専門家を招聘しての研修については、教員の評価は高い。研修部、地域支援センター、教務部と連携し、研修の目的や内容を精査しながら取り組むことができた。また、研修前の教員の課題意識を確認しながら個々の教員が目的を持って取り組む姿が見られ、教員自身も評価が高かった。一方、保護者については、学校で行っている研修の目的や内容等が分からない様子が見えた。今後は、保護者へ校内での研修の取組についても、ホームページ等で知らせ、授業で還元できるようにしていく。

II 安全で安心な学校づくり

- 1 教育活動が安全な環境で行われるように、校内外の安全点検等を行い、幼児児童の安全と安心の確保に努めます。【A・A】
- 2 食育指導とともに安全で楽しく充実した学校給食を実施します。【B・B】
- 3 いじめに対する意識を高め、予防的な対応を心がけ、保護者と連携しながら組織的に幼児児童の心の状態を確認します。【B・B】
- 4 災害発生時の危険を予測し、防災教育や放身線教育を充実させます。【B・B】

毎月、安全点検を行っている。教職員は、日々の観察で破損等を見つけた折には速やかに報告をしている。また、速やかに対応・修繕をしている。教員はいじめに対する研修を実施し、保護者からの情報も得ながら連携をして防止に取り組んだ。学校環境衛生検査も実施し、適切な環境を整えている。

III センターの機能の充実

- 1 地域の関係機関や保健師と連携し、乳幼児教育相談を中心とした早期からの教育相談の充実を図ります。【B・B】
- 2 教育事務所、市町村教育委員会、地域の特別支援学校の地域支援部と連携し、地域のニーズに応じた学校支援を充実させます。【B・B】
- 3 地域における聴覚障がい教育の専門機関として、学習会や研修会の場を地域に提供します。【B・B】

地域支援センターに所属している教員だけではなく、教務部や研修部も連携をして取り組んだ。乳幼児の難聴児を持つ保護者に対しては、聴覚障がい教育の専門機関として、学習会や研修会の場の提供を積極的に行っていくようにしたい。

